



全国学力・学習状況調査、

みえスタディチェックの結果から

一学期に実施した全国学力・学習状況調査（6年生対象）、みえスタディチェック（5年生対象）の結果をまとめました。この調査で測れるのは子どもの学力の一部であり、学校の教育活動の一側面ではありますが、結果をもとに学校と家庭が協力して、教育活動や児童の学習環境の改善につなげていきたいと考えています。

1. 学力調査結果から

【国語】 本校の平均正答率は、全国平均とほぼ同等でした。

- ・言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字の読み書き、敬語）は、正答率が高いです。
- ・実生活で体験していることは、回答率や正答率が高いです。今回は登下校でお世話になっている見守りボランティアの方へインタビューをする問題についてその傾向が見られました。
- ・無回答率は低く、最後までやりきろうとする力があり、意欲的に取り組むことができました。
- ・答えを文章で書く記述問題では、条件（〇字以内、指定した文章からわかることを書く等）に合わせて書くことに弱さがみられます。

【算数】 本校の平均正答率は、全国平均とほぼ同等でした。

- ・数と計算（整数や小数のたし算やかけ算、以上の意味の理解）、変化と関係（表から変化の特徴を読み取る）については、理解できている子が多いです。しかし図形の性質を考えて答えを導くことや、割合の問題（百分率）については苦手とする子が多いです。
- ・問題文を読み取る力や「文章で選んだ訳を書く」、「言葉に着目してわかることを書く」ことに弱さがみられます。

2 みえスタディチェック結果から

【国語】

- ・ローマ字問題の正答率がほかの問題に比べて高いです。理由としては、タブレットに触れる経験が多いことが挙げられます。
- ・資料（情報量）が多い時にどの資料をみて答えるのか判断することや時間配分を考えて取り組むこと、記述式の問題で条件を入れて書くことについて弱さがみられます。

【算数】

- ・計算（繰り下がりのある引き算、整数のかけ算）、角度について正答率が高いです。
- ・市の平均正答率よりやや高い正答率ですが、問題を読み取り問われていることを読み取る力や答えを文章で記述することについては、弱さがみられます。

3 学習や生活の状況に関する調査からみられる特徴について

- ・基本的な生活習慣（朝食をとる、起床・就寝時間）については、肯定的回答が80%以上超えていることから、意識をもって取り組んでいる家庭が多く、規則正しい生活が送れている子どもが多いです。
- ・ICT機器を勉強のために使っている子が95%を超えていたので、学習に役立っている子どもが多いです。
- ・「人が困っているときは進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」の質問には85%以上の子どもが肯定的に答えています。学校生活の中でも、低学年に優しく接する様子や、学びの中で教えあう姿が見られます。
- ・「自分にはよいところがある」という質問に対して62%「将来の夢や目標を持っている」という問いに対して71%の子どもがそうであると答えています。全校児童へのアンケートからもわかる本校児童の課題です。

4 学校での取組

- ・問題を読み取り問われていることを読み取る力について、国語の授業で文章の構成を考えさせたり、わかりやすい構成で文章を書く書き方を学ばせたりするなど、文章を整える学習も取り入れています。
- ・「書くこと」に関する力をつけるために、キーワードを示したり、文字数を指定したりして、自分の考えをまとめて書く活動を普段の授業の中で繰り返し取り組ませています。
- ・児童の自己肯定感を高めるために、自分を見つめる場や機会を設定するなどの自己理解や自己受容の取り組みを進めるとともに、様々な体験を通して成就感や達成感を味わわせたり、他者から認められたりするような活動を取り入れています。
- ・自ら学ぶ力や、自分の知識を活用する力をつけるために、自主学習（桜台小「プラスワン」）に取り組んでいます。取組の工夫を校内掲示して、子どもたちが自主学習に生かしていけるようにしています。
- ・児童用タブレット端末の「ミライシード」などを使って復習をさせていきます。また、その進捗状況を把握して助言や支援をしていきます。
- ・Google クラウドームを使うなどタブレット端末で行う家庭学習の充実を今後も図ります。

5 家庭へのお願い

学習習慣等を身につけるために

子どもをほめる機会を！

- ・子どものやろうとする意欲や取り組んでいる過程のがんばりを認め、励まし、ほめていきましょう。
- ・「なぜかな?」「どうしてそうなるのかな?」などの声かけが、疑問に思ったことを調べる習慣につながります。

一緒にルールづくりを！

- ・家庭での学習時間を確保しましょう。学習時間にはテレビを消すなどの環境づくりも大切です。
- ・子どもたちが、ゲームやスマホ、インターネットを適切に使用できるよう、お子さんと話し合い、使用時間などの家庭でのルールづくりに取り組んでいきましょう。

早ね早おき朝ごはん

- ・毎日同じぐらいの時刻に起床・就寝するなど、規則的な生活習慣を身に付けることが大切です。
- ・「おはよう」から始まり「いただきます」「行ってきます」と、一日を気持ちよくスタートさせましょう。

子どもと本をつなごう！

- ・手の届くところに本を置くなどの工夫をしたり、読書の時間を設け子どもと一緒に本を読んだり、本について話し合ったりするなど、「家読(うちどく)*」に取り組みましょう。

*「家庭読書」の略語で「家庭ふれあい読書」を意味し、家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深めることを目的にした読書活動です。

みえの学力向上
県民運動HP



子どもたちの学習状況や、家庭学習を習慣化するためのアドバイス、家庭で活用できる資料を紹介する動画を掲載しています！



三重県教育委員会
マスコットキャラクター
「みえびい」